

9月の生活表

2024年 9月

聖マリア幼稚園

年主題：さあ、漕ぎだそう 奏でよう

月主題：平和を祈る

保育日数（17日）

月目標：＜3歳児＞：のびのびと

- ・暑い夏を守られたことを神様に感謝する
- ・友だちと共にいる時間を喜び、じっくりと遊びをすすめる
- ・空や風、季節の変化を肌で感じ、体を動かす気持ち良さを感じる

＜4・5歳児＞：深める

- ・一人ひとりに与えられている賜物に気づき感謝する
- ・遊びや活動を通し、友だちと互いの思いを聞き合いながら、イメージしてを共有する
- ・夏から秋の自然を感じながら、心を開放し、気持ちよく体を動かす

酷暑の夏から、夕立と雷、そしてゆっくり北上の台風の10号。迷走しながら日本縦断・横断しましたね。秋雨前線と相まって東北地方は毎回大雨に見舞われています。今年は、新年早々から災害に見舞われ、これから先まだ何が起こるんだろうかと考えてしまいます。さて、この時にあって皆さんはどのように、子どもさんと共に季節の移ろいを「ことば」にして感性を共有しておられますでしょうか。子どもたちの育ちにとって、その時、その時に経験する全てについて「ことば」＝（語彙の積み重ねと深まり）とさらには表現へと繋がっていくということをお覚え頂きたいと思います。そして、社会性にも大切になってくるのです。具体的な言葉も抽象的な言葉も大人の口から先生の口から「発する」ことの大切さは、子どもたちの生活を豊かにし、ある時は不安感から安心感を得ることにもなるでしょう。この2学期はそれぞれの学年での個々の成長が一番充実する時、成長がみられる時になります。そして次の3学期を見据えての希望や挑戦に向かっていくのです。さあ、そんな中、2学期には「命」に関わる大切な行事が続き、同じ行事でも各々の、今年度の関わりになるのです。まずは、①お芋掘り遠足ですね。私たちは、たくさんの方の手を通して掘り、楽しみを経てお芋の命を頂くのです。②運動会は授かった命を健康に保ち、さらに自分の体力をつける、やってみようと挑戦する、満足感を得ます。③大文字登山も然りですね。さらには京都の大切な文化にも触れるということが加わります。④感謝祭は勤労・収穫・七五三・敬老感謝、そして「全てのことについて感謝しなさい」と神様にお祈りをする大切な祈りの時です。勿論子どもたちの発表会があります。さらに⑤「クリスマス」です。私たちのイエス様がお生まれになったことを劇（聖劇）として子どもたちが各々のキャストを担い、保護者のコーラスで更に喜びを表そうとするものです。これらの大切な行事は全てが「命」に関わる重要なものであり、「命」に対して考える時になります。でも、考えずに素通りもできます。でも考えないと勿体ないと思いませんか？子どもたちを通して、この場で関わってくださっている全ての方々にとっての幼児教育が、一人一人の心身全体に浸透してほしいと思っているのです。「考えるスイッチ」をOFFのままで日々過ごすのか、ONにしてみるのか、ある意味大人の責任でもあるでしょう。それぞれの時・場で投げかける「ことば」が生き、積み重ねられますように。大切な子どもたちの「今」の毎日を、時にはONにしてみましょう。

《チャレンコーナー》

年主題：さあ、漕ぎだそう 奏でよう

年聖句：わたしは道であり、真理であり、命である

月聖句：主において常に喜びなさい。（フィリピの信徒への手紙4：4）

新約聖書の後半部分は、「手紙」と呼ばれる諸文書です。教会のリーダーが、各地の教会の信徒にあてて書かれた手紙が、皆に読まれ、書き写され、聖書に収められたものです。「手紙」の半分以上を、パウロという宣教者が書きました。パウロは宣教者でしたので、様々な旅先で筆を取りました。その中でも、今月の主題聖句を含む、エフェソ、フィリピ、コロサイの教会への手紙などは、独特です。これは、パウロが迫害され、投獄されていた時に書かれた手紙です。「獄中書簡」などとも呼ばれます。

牢獄で、自由を奪われ、命の危機に瀕している状況で書かれた手紙なのですが、中身には、悲壮感は一切感じられません。書かれているのは、教会信徒への励まし、心配、配慮などで、そして特に特徴的なのが「喜び」です。危機的な状況の中であって、パウロは、信徒たちが熱心に信仰生活を送っていること、迫害にもめげずに祈り続けていることを知り、とても喜び、その喜びを素直に伝え、そして信徒たちに、自分と共に喜ぶことを勧めているのです。

これは驚きです。こんな状況で、なぜ喜ぶことができるのでしょうか。それは、ただひたすら、他者を愛しているからだと思います。自分の事はさておき、愛する信徒の事ばかりが心の中にあるからこそ、自分の危機的状況は気にならずに、素直に他者の成長や健在ぶりを喜ぶことができるのです。これが、自分のことばかり考えていたとしたら、我が身の不幸を嘆き、迫害する者を恨み、助けてくれない仲間に不平を言うことでしょう。

私たちは、ついつい不平不満を口にします。自分の理想や希望が十分に「実現していないことを嘆きます。けれども本当は、目の前に喜ばしいことが一杯あるはずです。自分の中の欲得を一旦横に置いて、素直な目で見つめたいです。

おたんじょうび おめでとうございます

<生活指導>

☆2学期の始業にともない、規則正しい生活のリズムに戻しましょう。

- ・登園時間を一定にし（8時半～9時）、朝の遊びを大切にしましょう。
- ・体調を整えましょう。（早寝早起き、朝食、うがい、手洗い、入浴、シャンプー、歯磨き、等の励行。）

☆秋の自然に興味関心（好奇心・探究心等）を持たせる機会を得、親子で向き合ってみましょう。

- ・移り変わる自然：虫取り、虫の声、種取り、秋の花々、木の実、空の雲、気温の変化、山の色など「小さな秋」を見つけましょう。
- ・過ごしやすい季節を迎えます。絵本を媒体として親子で向き合ってみましょう。

☆敬老の日を機会に祖父母の存在を知らせ、接する機会を持って楽しく遊び、昔のお話も聞いてみましょう。

- ・いつも孫達のことを守り、祈って下さっている祖父母に対し、感謝の意を表しましょう。
- ・曾祖父母がご健在でしたら、その方の幼少期の遊びやお話を聞き、またその家に伝わる大切な事柄など、命とともに繋がってきていることを確認し合い、また繋いで行かねばならないことを、幼い子ども達にも知らせる機会を持ってみましょう。
- ・敬老の日の「命」の繋がりを通して自分の命・人の命・動植物の命等にも触れてみましょう。（災害や戦争等も視野に入れて考えてみる）

☆日本内外の動きにも目を向けてみましょう。

- ・オリンピックののち、8/28日よりパラリンピックも開催されています。国を知り、人を知る機会を捉えてみましょう。（大人も共生社会を捉えられるように。）

[クラスだより]

<花組>

朝晩の風が涼しくなりました。ふと気付けば蝉の声が聞こえないこと・・・トンボがプールで水しぶきを上げて遊ぶ子どもたちの上を飛び回っていて、9月だな～と感じる今日この頃です。まだまだ日中は暑い日が続くそうです。寒暖差や、室内外の温度差など、引き続き熱中症などに留意してゆく必要がありますね。園でも気を付けてゆきたいと思います。

さあ！長い夏休みでした。夏ならではの遊びを存分に楽しむことができたでしょうか。それぞれの夏休みを過ごした子どもたちが幼稚園に集まってきました。花組さんは、新たに可愛い小花ちゃんのお友だちを夏休み中に1名、9月スタートでpre-preクラスより進級された2名の計3名のお友だちが仲間に加わり、何と！花組さん19名と何

とも賑やかになりました。BOXが一行で並ばなくなる嬉しい悩み・・・少しお部屋の模様替えをしてピアノのお隣にもBOXを並べました。朝のご用意（シール貼り、お便りお帳面出しなど）をするピンクの机も場所を移動しズラリと並ぶお椅子も嬉しい限りです。

2学期はお芋堀りを皮切りに運動会・・・と行事が目白押しの盛り沢山の学期です。19名の子どもたちがそれぞれにどんな思いで向き合い・取り組んでゆき、どんな変化を経て、どんな成長が見られるのか・・・その過程で一人ひとりの子どもたちの思いに寄り添いながら、思いを受け止めてゆきたいと思います。ご家庭でお気づきになられて、疑問に思われたり、不安なことがありましたら、どうぞ遠慮なくいつでもお知らせ下さい。もちろん！嬉しい・楽しい・面白い！などの変化や発見があれば教えていただけたら、子どもたちを真ん中にして一緒に分かち合いたいと思います。そして何よりも、子どもたち一人ひとりが安心して過ごせますように、個別の支援・援助も異年齢の教育・保育ではとても大切です。基本的な生活習慣の習得も含めて、ご家庭と連携を保ちながら、子どもたち一人ひとりの『今』を見極め、個々の育ちにしっかりと向き合ってゆきたいと思いますので、重ねてご理解とご協力をお願い申し上げます。

<赤組>

「蝉の声、聞こえすぎ！」と、鳴き始めた蝉の声を聞いて子どもたちは夏を感じ始めました。そんな今年の夏の終わりには、「台風10号くるのかな。すごい風なんですよ？」と雨風を心配していましたが、京都は最初の予報とは異なり晴れた日もありましたね。去年と同様に体温よりも気温が上回る猛暑続きで、少し外に出ているだけでも汗が滝のように流れ落ちていました。暑くてベタベタする夏だけれど、子どもたちにとっては嬉しい夏だったのです。「今日はプール？」と期待を込めて毎日聞いてくれるくらいプールが大好きな子どもたち。「ひゃ～～」と言いながらシャワーの水の冷たさを感じた日もあれば、「あれ？ぬるいな～」と、太陽の熱で温水になったことに気が付き、水の温度の変化も肌で感じていました。水がへっちゃらなお友だちは「バシャーン！」とダイナミックに泳いだり、水のかけ合いっこをしたりして楽しみました。最初は水に恐怖心があったお友だちは、そんな周りで泳いでいるお友だちからの水しぶきがかかると、怪訝な表情をしていましたが水とお友だちになり、最後にはへっちゃらになりました！熱中症に注意しながらもお天気に恵まれ、水と触れ合い遊ぶことができて感謝です。明日で今年度のプールはおしまいです。思い切り楽しんで夏を終え、新しい季節へと向かいたいと思います。

さて！長いようで短かった夏休みも終わり、いよいよ2学期が始まりました。「2学期が始まる」ということを子どもたちはどのように感じているのかな？と思っていましたが、2学期初日、シール帳面やお当番表も復活し、絵本も9月の絵本に変わっている変化に気づいていました。子どもたちなりに「新しく始まるんだ」と理解しているのかなと思います。これから始まる2学期は、自分のことで精一杯だった1学期から少し周り（お友だち）にも目を向ける余裕が出てきて欲しいと思っています。夏季保育の中で1日だけ赤組が全員出席だった日がありました。その時「今日みんな揃ったね」と喜ぶ合う姿がありました。そして2学期初日も全員出席でむかえられ「良かった、みんな来たね」と一言発するお友だちも。確かに、お友だちの存在は大きくなり、意識をするよ

うになってきました。進級当時は「先生と一緒に」が基本だったけれど、1学期の最後には「〇〇ちゃん一緒に遊ぼう」が当たり前になっていたことに成長を感じ、7人の少ない集団だけれど横の繋がりが密になったと考えます。2学期にはその関係をより深め、自己主張だけをするのではなく、相手がいること、誰が何のお話をしているのかな？と耳を傾けられるように姿勢を整えていきたいと思っています。同時に自己表現も豊かに出来るよう、「何だろう？」と興味をもったことに挑戦して、新しい体験をし「おもしろい」を沢山見つけ、充実した日々を過ごせますように。私も子どもたちの興味・関心を伸ばせるようアンテナを張り、子どもたちと共に考え、挑戦していきたいと思っています。

行事の多い2学期です。その中で葛藤や戸惑いにぶつかることもあると思いますが「やってみよう！」「できた！」をたくさん経験し、集団の中で「みんなで出来た！」とみんなで力を合わせて何か一つの事を成し遂げる喜びも味わって欲しいと思っています。子どもたちはどんな成長を見せてくれるのでしょうか。

2学期も、ご指導、ご協力の程どうぞよろしくお願い致します。

<緑組>

京都の猛暑日が39日！長い長い夏に早く終わりを告げたいのに、なかなか暑さは去ってくれそうにありません。子どもたちの日焼けした笑顔に再会し、「さあ2学期！！」と気合を入れようとした矢先に、数年ぶりの発熱でダウンした私。新学期早々に欠席した担任のため、道端のお地蔵さまに「朋子先生のお熱が下がりますようにアーメン」とお祈りをしてくれた優しい心に触れて...なんとも幸せな気持ちになりました。2日遅れて子どもたちに合流し、「お祈りしてくれて、ありがとうございました。2学期もよろしくお願いします」と挨拶すると、皆が「ハイッ！」と声を揃えて答えてくれました。その言葉の強さ、勢い、大きさ、そしてその表情に1学期と違う...自信や意欲を感じました。また2か月振りのジャンピングでも、子どもたちの余裕を垣間見ました。なんとも賑やかで、楽しそう♪賑やかであってもふざけているのではない、友だちが頑張っている姿に拍手で応援し、なんだかとても前向きに挑戦し楽しんでいるのです。新しくお迎えしたお友だちにも、以前にはなかった余裕の対応...。そんな子どもたちの成長した姿と共に私の2学期初日ははじまりました。そう！とてもHAPPYな気持ちで♡こんな「HAPPYな気持ち」を2学期子どもたちと...保護者の方々と...共有できたら...と思います。特に就学まで半年となり、それぞれに「小学校」を意識する時期にもなります。時制の獲得と生活習慣の確立、互いに理解を深め協力し合える...を目標に、多くの行事もある2学期ではありますが、どうぞ一緒に楽しみ、そして悩み、笑い、喜んでくださいますようによろしく願いいたします。